



NEW MODEL

新型コンチネンタル GT Speed を発表

刺激的なブラックエディションも追加



CONTENTS

- 1 NEW MODEL —
新型コンチネンタル
GT Speed を発表
- 2 COMPETITORS —
アストンマーティン DB11



- 3 MOTOR SPORT —
ベントレー史上最大規模の
レースプログラムを発表
- 4 NEW MODEL —
17MY ミュルザンヌ
- 5 LATEST NEWS —
ペンティガのデリバリーを
開始 他



- 6 BASIC KNOWLEDGE —
ペンティガの新技術 Vol.6

英国ベントレー モーターズはこのほど、コンチネンタルGT SpeedとコンチネンタルGT Speedコンバーチブルを改良した2017年モデルを発表しました。

新しいGT Speedの最大の魅力はエンジンスペック。最高出力は7PSアップの642PSとなり、最大トルクも840Nmと20Nmアップしています。2000rpm-5000rpmまで途切れることなく最大トルクを発揮し、加速性能が飛躍的に向上しました。全回転域でのトルクアップを実現したのは、プー

ストコントロールの入念な最適化です。その結果、0-100km/h加速は従来型より0.1秒速い4.1秒に短縮。コンチネンタルGTが誇る「全域で豊かなトルク」がさらに厚みを増しています。

この改良は、クーペとコンバーチブルの両方に施されています。

さらに、GT Speedの新ラインナップとしてブラックエディションを追加。スポーティなコンチネンタルGTが持つ気品と刺激的な魅力を強調したモデルです。ウィンドウ周りやランプベゼルなど、エク

テリアのブライトウェアに高光沢のブラック仕上げを施しました。また、21インチの5スポークディレクショナルホイールもブラック仕上げ。スポークの間隙からのぞくブレーキキャリパーは、レッドとブラックから選択できます。

さらに、ブラックエディションでは、個性が際立つアクセントとして、フロントスプリッター、サイドスカート、リアディフューザーにコントラストカラーを設定。Hallmark、Beluga、St James' Red、Cyber Yellow（新色）の4色から選ぶことができます。こ

のコントラストカラーは、ドアミラーにもペイントすることが可能です。

インテリアにもブラックエディション専用設定を用意。フェイスパネル、センターコンソール、ルーフコンソールにはカーボンファイバーをあしらってスポーティな雰囲気を演出。シートとセンターコンソールには専用カースプリットによるコントラストカラーのレザーを採用し、彩りを加えました。ドアトリムおよびシートのダイヤモンドキルトには、コントラストステッチが加えられています。



刺激的な内外装のブラックエディション。クーペとコンバーチブルの両方に設定される。

COMPETITORS INFORMATION [競合車情報]

すべてが一新されたDBシリーズの最新作 —アストンマーティン DB11の特長—

アストンマーティンは、2016年3月のジュネーブ・モーターショーで最新のDBシリーズとなるDB11を発表しました。2013年に創業100年を迎えた同社は、次の100年を見据えた革命的な戦略を「第2世紀」として掲げています。DB11はその第1作として発表されたもので、同社初のようなテクノロジーを満載。日本でもすでに受注が開始され、価格も発表されています。

デザイン



ボディデザインは、アストンマーティンらしさはそのままに新しいデザイン言語により一新されました。特にAピラーからCピラーまでつながる長尺アーチ型のルーフストレーキは、ポリッシュ仕上げを選べばキャビンのアクセントとなり、ブラック仕上げを選ぶとキャノピー効果によりボディ上部と下部が視覚的に分割される特長があります。



アストンマーティン・エアロブレード™は、Cピラー基部からエアフローを流入させ、リアデッキ中央から車外に排出。画期的なエアロダイナミクスを流麗なデザインに溶け込ませている。

エアロダイナミクスでは、革新的な「アストンマーティン・エアロブレード™」を採用しています。これはCピラー基部からボディ内部のダクトにエアフローを流入させ、それをリアデッキリッドから車外に排出させることでパーチャル・スポイラーとして機能させるもの。付加的なフリップに頼ることなくリアのリフトを抑制させることにより、流麗なスタイリングを実現しています。

ボディ構造

アストンマーティンの特徴的な接着アルミニウム・ボディ構造は、軽さと剛性を追求しながら、スペース効率にも優れたつくりとなっています。DB9に比べてホイールベースを65mm延長し、V12エンジンの搭載位置を後退させることで、前後重量配分は51:49に向上。さらに前後のトレッドを拡幅する一方、前後オーバーハングを短縮することにより、パフォーマンスとダイナミクスを最適化させています。



FEATURE 1

アストンマーティンの第2世紀を象徴する新しいデザイン言語

FEATURE 2

より軽く、剛性が高く、スペース効率に優れたボディ構造

FEATURE 3

同社初となる新開発の過給器付きエンジンを搭載

パフォーマンス

DB11の心臓部には、新開発の5.2リッターV12ツインターボエンジンが搭載されます。アストンマーティンのパワートレインチームが独自設計し、自社エンジンプラントで製作されるこのエンジンは、同社初のターボチャージャーユニット。最高出力608ps、最大トルク700Nmのスペックは市販されたDBシリーズ史上もっともパワフルなもので、最高速度322km/h、0-100km/h加速3.9秒という圧倒的な動力性能を誇ります。



また、エンジン負荷の低いときに片側のバンクを休止させる気筒休止やエンジンストップ/スタート機構など、効率と排ガス特性を向上させる技術を採用。さらに控えめなサウンドで始動可能な「クワイエット・スタート」、ドライブモードによりエンジンサウンドが増減する新機構など、ドライビングプレジャーと使い勝手を両立させた技術も搭載されています。

シャシー

ダイナミック・ドライブモードでは、GT、スポーツ、スポーツプラスの3種類のモードが選択可能です。最新世代のビルシュタイン・アクティブ・ダンピング、電動パワーステアリング、そして同社初のアクティブ・トルク・ベクタリングのバランスを最適化することにより、それぞれに明確なキャラクターを設定しています。

インテリア

圧倒的なクオリティと質感が特長のインテリアには、様々な素材とカラーを用意。豊富な選択肢のなかから自分好みの仕様を自由につくりあげることができます。



テクニカルパートナーのダイムラーと共同開発した新型インフォテインメントシステムも特長です。12インチ・フルカラーTFTディスプレイとダッシュボード中央のインフォテインメント用8インチTFTディスプレイにより、圧倒的な視認性を実現。直感的に操作できるロータリーノブに加えて、オプションのタッチパッドも用意されています。



価格

DB11は、まずはローンチ・エディションの1,000台が2016年第4四半期から2017年にかけてデリバリーされる予定です。このローンチ・エディションでは、社内デザインチームによる6種類のデザイナー仕様も用意。統一感のある洗練されたコーディネートを選ぶこともできます。ローンチ・エディションの価格は25,915,720円（税込・暫定価格）で、その後に販売されるベース車両の価格は23,800,000円（税込・暫定価格）です。

NEW MODEL INFORMATION [新型車情報]



アウディ R8

発表・発売日	3月26日発表・7月5日発売
概要	・ 2016年の日本市場向け販売台数は限定100台 ・ 高回転型エンジンは5.2リッター自然吸気V10のみ。540 PSと610 PSの2タイプ ・ レーザーハイビーム付きLEDヘッドライト、アウディバーチャルコックピットなどを標準装備
車両価格(税込)	R8 V10 5.2 FSI quattro： 24,560,000円 R8 V10 plus 5.2 FSI quattro： 29,060,000円
デリバリー開始時期	—



メルセデス・ベンツ G 550 4x4²

発表・発売日	4月4日発表・5月31日までの期間限定受注
概要	・ ワイドトレッドとラリー強化仕様サスペンションによりスポーティなドライビングを実現 ・ ポータルアクスルの採用により走破性を大幅に向上。最低地上高460mm、渡河深度1,000mmを実現 ・ 360°カメラシステム、パークトロニックなど、日本専用装備を装着
車両価格(税込)	35,100,000円
デリバリー開始時期	—



テスラ・モデル3

発表・発売日	3月31日先行予約開始・4月1日発表
概要	・ テスラ待望のエントリーモデル。発表後1週間に32万5,000件以上の予約を受注 ・ 1度の充電で345 km以上の航続距離、0-100km/h加速6秒以下を目指す ・ 予約には150,000円の予約金が必要
車両価格(税込)	米ドルで35,000ドル～を予定
デリバリー開始時期	2017年以降

TRAINING [トレーニング]

「Becoming Bentley」の研修を今年も実施

今年も5月12日(木)にTKPガーデンシティ品川にて「Becoming Bentley」の研修を実施します。この研修は、ベントレーの歴史や哲学、モデルや製造工程などの基礎知識を習得していただくもので、ベントレーの業務に携わるスタッフとして知っておいていただきたい内容についてお伝えします。

また、今回はスペシャルゲストとしてモータージャーナリストの九島辰也氏をお招きし、ベントレーの魅力やイギリス文化についても語っていただく予定です。
現在18名のお申込みをいただいております。当日のご参加をお待ちしております。

開催日時：	2016年5月12日(木)
場所：	TKPガーデンシティ品川 会議室「サルビア」
時間：	9:30-18:00
持参するもの：	筆記用具
ドレスコード：	ビジネスカジュアル

MOTOR SPORT [モータースポーツ]

ベントレー史上最大規模のレースプログラムを発表

ベントレーの2016年シーズンのモータースポーツは、ベントレー史上最大規模でレースに参加することになりました。
今年はワークス・チームもカスタマー・チームも拡大し、世界各地で開催される約90のトップレベルのGTレースに出場します。

新加入ドライバーを加えたワークス・チーム

ベントレーのワークス・チームであるベントレー・チームMスポーツは、ブランパンGTシリーズへのフル参戦が決定。2015年のブランパン耐久シリーズチャンピオンであるWolfgang Reipが新たに加入し、このシリーズのドライバーラインナップに加わりました。
2014年と2015年のブランパン耐久シリーズでの成功を受け、今シーズンはブランパンスプリントシリーズにもエントリーし、コンチネンタルGT3で総合優勝を狙います。



新しくベントレー・ボーイズの一員になったWolfgang Reip

GTチャレンジ(バサースト12時間、スパ24時間、セパン12時間)にも出場します。
ベントレーのモータースポーツの責任者であるBrian Gushは、「過去2シーズン、私たちはWolfgang Reipと非常に競ったバトルを展開し、とても楽しむことができました。彼を新しいベントレーボーイとして迎えることに感動し、大変嬉しく思っています」などとコメントしています。



ブランパンGTシリーズにフル参戦する2016年モデルのコンチネンタルGT3

コンチネンタルGT3の勇姿を世界各地で

ワークス・チームのプログラムを拡大する一方で、コンチネンタルGT3は世界各地のトップレベルのチャンピオンシップに参加します。Brian Gushによる慎重な選考を経て選ばれたカスタマー・チームやパートナー・チームが、ブランパン耐久シリーズ、ピレリ・ワールド・チャレンジ



日本では7月に岡山と富士でコンチネンタルGT3の勇姿を見ることができる

GTアジア、ADAC GTマスターズ、ブリティッシュGT選手権などに参加することが決定しています。これについてBrian Gushは、「どのチームが今シーズン、私たちと手を組むのにふさわしいか、とても慎重になりました。決定したチームとプログラムを見ると、それぞれのシリーズで優勝できるだけの力があると思っています」などと語りました。
また、今年もベントレー・チームAbtスポーツラインは、ニルブルクリンク24時間に参戦します。過去2年と同様に、ワークス・チームとメーカーのハイレベルなサポートを受けます。ここでの勝利は、「今日のブランドにとって何よりも重要なものになる」(Brian Gush)ため、ぜひお客様にも紹介してください。

NEW MODEL [ニューモデル]

— 17MY ミュルザンヌの特徴 —
初のフェイスリフトで高級感と
ベントレーのDNAを強調

2月に発表され、3月初旬のジュネーブ・モーターショーでワールドプレミアとなった17MYのミュルザンヌ。初めてのフェイスリフトであり、ミュルザンヌ Speedとエクステンデッド・ホイールベース（日本市場への導入はなし）も同時に発表されたことで、大きな注目を集めました。新型ミュルザンヌの特徴をまとめました。



エクステリア

往年の名車を想起する
フロントグリル



新型ミュルザンヌのエクステリアで最も変わった点は、誰の目にも明らかなフロントグリルです。名車8LitreやR-Type Continentalを思い起こさせるクロームの縦の棧が採用され、その奥にマトリックスグリルが配されています。グリルの幅が先代モデルより80mm広げられ、押し出しの強さが増えています。

フルLEDヘッドランプで
より現代的なルックスに



ヘッドランプは、ベンティガに初めて採用されたフローティングデザインのフルLEDに変更され、より現代的なルックスに生まれ変わりました。また、水平基調のラインが入ったことで、ウォッシャー内蔵の外側のランプが上に持ち上げられ、ヘッドランプは4灯とも同一のベースライン上に並ぶことになりました。

バンパー、ラジエーターシェル、
ボンネットの融合



新しいラジエーターシェルとボンネットと組み合わせられる一体成型のバンパーは、継ぎ目のない同一平面のようなフロントを形成しています。車のワイド感を強調する効果を得ました。

「B」をモチーフにしたこだわりの各部

バンパー下部の左右に配されたダクトは、いずれも「B」をモチーフにしたデザインです。また、リアコンビランプもベンティガに採用されたような「B」型になりました。さらに、フロントフェンダーのベントもこれまで同様に「B」がモチーフとなっています。



インテリア



一見すると大きな変更はありませんが、エクステリアがモダンなスタイリングになったのに合わせ、シートも新設計のものを採用。形状やクッション材などもすべて見直し、乗員の快適性を徹底的に追求しました。デザインはフルートとキルティング（いずれも新デザイン）の2つのスタイルから選択でき、カラーは24色の選択肢があります。

振動と騒音の軽減を図った改良も

乗員の快適性を向上させるため、室内に入ってくる振動と音をさらに軽減する改良が行われました。1つはサブフレームに新開発のブッシュを採用したことです。これにより、ベントレーらしいドライブフィールを残しつつ、室内のロードノイズと振動を抑える効果がアップしました。さらに、新採用のアクティブエンジンマウントも、伝統の6.75リッターV8エンジンからの振動とノイズを抑えてくれます。

新型ミュルザンヌ Speed の特徴

ミュルザンヌと同時に発表された新型ミュルザンヌ Speed。ミュルザンヌがベースとなっていますが、よりアグレッシブでスポーティな、比類なき「ブリティッシュ・ハイパフォーマンス・ラグジュアリー」を感じさせます。
なお、エンジンスペックは16MYと同じく最高出力537PS/4,000rpm、最大トルク1,100Nm/1,750rpmで、最高速度は305km/h、0-100km/h加速は4.9秒です。



<ミュルザンヌ Speed 専用装備>

ダークティント・マトリックスグリル

ダークティント・B型フェンダーダクト（Speed刻印入り）

ダークティント・ヘッドランプグリル

ダークティント・リアコンビランプ

ライフル加工のエグゾーストパイプフィニッシュ

■ 17MY Mulsanne 主要諸元		
	Mulsanne	Mulsanne Speed
全長	5,575 mm ※	
全高	1,521 mm ※	
全幅	1,926 mm ※	
ホイールベース	3,266 mm ※	
重量	2,685 kg ※	
エンジン型式	6.75 L V8 ツインターボ	
最高出力	512 PS/4,000 rpm	537 PS/4,000 rpm
最大トルク	1,020 Nm/1,750 rpm	1,100 Nm/1,750 rpm
燃料タンク容量	96 L	
トランク容量	443 L	
最高速度	296 km/h	305 km/h
0-100km/h加速	5.3秒	4.9秒

※数値は欧州参考値です

LATEST NEWS [最新情報]

NEW MODEL

ベンティガのデリバリーを開始

英国ベントレー モーターズは3月22日、ベンティガを初めてお客様に引き渡しました。第1号となるベンティガ（ファーストエディション）は、クルー本社にお客様を招待し、お引き渡しのイベントを開催。ベンティガ生産ラインのビスポーク工房の見学ツアーなどを実施し、お楽しみいただきました。ベンティガは、コンチネンタルGTやフライングスパー、ミュルザンヌなどが生産されている工場の4番目の生産ラインで製造されました。1台に130時間かけて製造されるベンティガの製造工程を見学されたお客様は、ベントレーの物づくりに対する情熱、技術力などといったクラフトマンシップを目の当たりにしました。今回のイベントはベントレーの歴史における重要な試金石となりました。ベントレーのケビン・ローズ（セールス、マーケティング、アフターセールス担当取締役）は、「本日はベントレーにとって歴史的な日です。世界最速で最もラグジュアリーなSUVであるベンティガが、生産体制に入った証だからです。クルーで働く4,000人の従業員に、あらためて感謝します」などと語りました。



NEW MODEL

コンチネンタルGT V8 S by Blake

英国ベントレー モーターズはこのほど、チャリティを目的としたコンチネンタルGT V8 S コンバーチブルの特別塗装車を発表しました。この特別塗装車のデザインを手がけたのは、ビートルズのアルバム『サージェント・ペパーズ・ロンリークラブ・ハーツ・バンド』のジャケットなどを手がけたポップアーティストのピーター・ブレイク卿。英国のアイコン的存在であるベントレーとブレイク卿のコラボレーションが実現しました。



ベントレーイエローのボンネットに赤いハートのモチーフが描かれ、ブレイク卿の手によるものと一目でわかるようになっています。フロントからリアにかけてはSt Luke'sブルー（ビスポークカラー）、ボディ下部はブリティッシュレーシンググリーン、マトリックスグリル周りはFuschia pinkで塗り分けられています。また、それぞれ4色に分けられたシートには、ブレイク卿のサインが刺繍されています。この車は6月24日にグッドウッド・フェスティバル・オブ・スピードでオークションに出品され、その収益は全額が世界中でホスピスおよび緩和ケアを提供する慈善団体 Care2Save に寄付されます。



COLLECTION

コラボブランド物語

Tibaldi (ティバルディ) 編

「Tibaldi for Bentley GTシリーズ」としてベントレーとコラボレーションするイタリアのペンメーカー「ティバルディ」。現在お客様には、ボールペンやローラーボールペン、万年筆をベントレーコレクションでお求めいただけます。このティバルディとは、一体どのようなメーカーなのでしょう。ティバルディの創業は1916年。創業者はジュゼッペ・ティバルディで、イタリアのフィレンツェで万年筆メーカーとしてスタートしました。しばらく休眠していましたが、欧州のプレミアムカーメーカーとのコラボ商品も多いモンテグラッパ社の元オーナーが筆頭株主となり、映画『ダ・ヴィンチ・コード』の公式万年筆を発表したことで復活。2007年には、両者の高い技術力と物づくりに対する哲学・姿勢が一致したことから、ティバルディの創業90周年とベントレーの創業60周年という節目を記念した「Tibaldi for Bentley」を共同開発しました。妥協が生まれたりどちらかの影が薄くなりしがちなコラボレート商品の概念を覆す商品として注目を集めました。



Mulsanneシリーズの Burr Oak & Rose Gold

GTシリーズは実際にボディカラーで使用されている4色をラインアップ

CAMPAIGN

Be Extraordinary キャンペーンが銀賞を受賞

インターナショナルリスト アワード for イノベーション in メディア

英国ベントレー モーターズが展開してきた「Be Extraordinary キャンペーン」がこのほど、国際的な広告・マーケティング・メディアなどと人々をつなぐメディアである『The Internationalist』誌が主催する「インターナショナルリスト アワード for イノベーション in メディア」で銀賞を受賞しました。この賞では、複雑化するマーケティング戦略の世界でリーダー的な役割を担ったか、などについて審査され、ベントレーの国際的なマーケティング活動やブランドプロモーションが、世界中であらゆる角度から展開されたことが審査員たちから高く評価されました。Be Extraordinary キャンペーンでの、俳優のジャン・レノさんを起用した動画や、世界をリードするという精神を持った人たちが集うため、その仕掛け役としての役割を担ったことにも審査員は感銘を受けたようです。ケビン・ローズ（セールス、マーケティング、アフターセールス担当取締役）は、「私たちが手がけた初めての国際的ブランドキャンペーンが、この賞を受賞できたことを大変嬉しく思います。Extraordinaryの精神はベントレーの中核であり、創業者W.O.ベントレーから受け継がれてきたメッセージでもあります」などと喜びのコメントを発表しています。



BASIC KNOWLEDGE [基礎知識]

Bentayga の新技術 Vol.6

Bentley Dynamic Ride 48V Active Roll Control

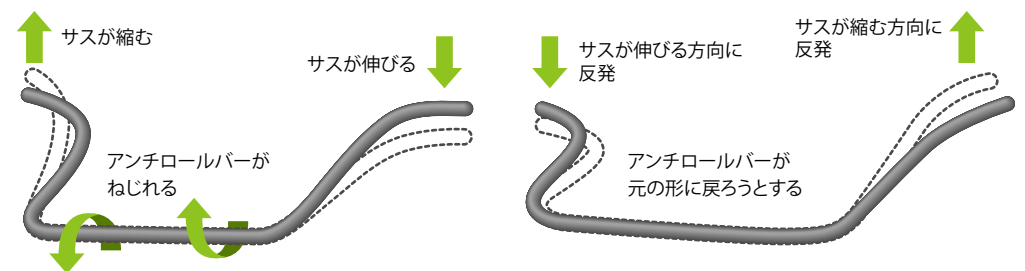
ベントレー ダイナミック ライド 48V アクティブ ロール コントロール

クルマでカーブを曲がるとき、遠心力の影響で車体がカーブの外側に傾斜する、いわゆるロールが発生します。そのロール量は、コーナリングスピードが速いほど、車重が重いほど、車高が高いほど増えるのが普通で、許容レベルを超えるとクルマが横転する危険があります。

そこで、左右のサスペンションを金属製のシャフトで連結し、例えば左カーブで右側のサスペンションが縮み、左側のサスペンションが伸びたときに、それに伴ってねじれたシャフトが元の形に戻ろうとする力を利用してロール量を抑える、アンチロールバー（スタビライザー）が多くのクルマに採用されています。

しかし、アンチロールバーは過大なロールを抑える一方で、サスペンションの動きを抑制する作用もあるため、例えばオンロードでの高速コーナリングに合わせてアンチロールバーの硬さを設定すると、通常走行での乗り心地が極端に低下し、オフロードでの大きな凹凸に対するサスペンションの追従性、タイヤの接地性が低下します。

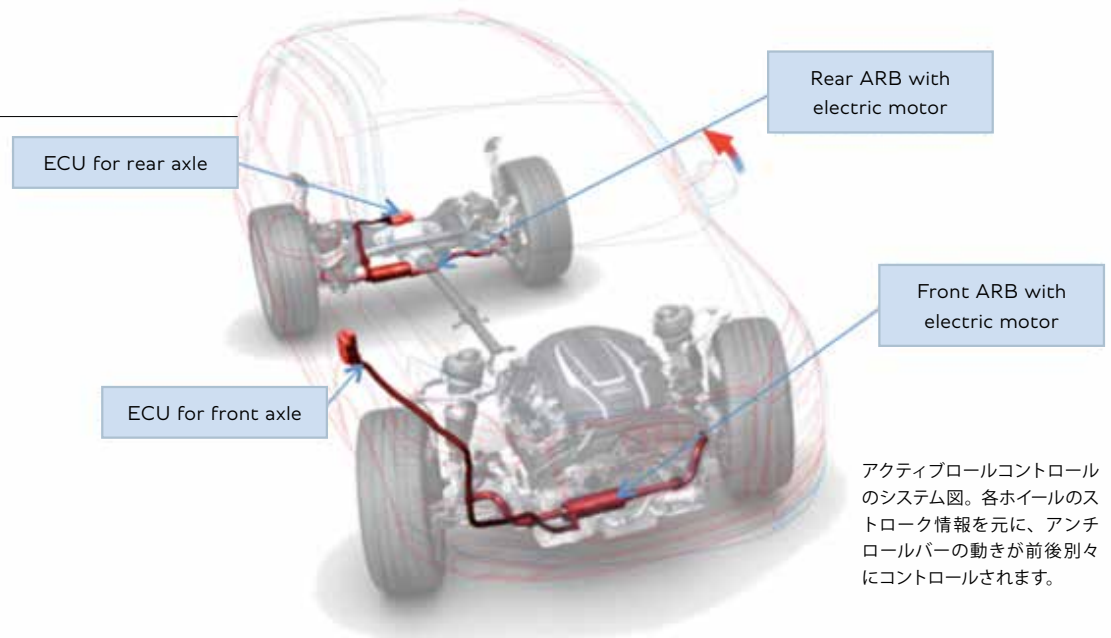
そういったネガティブな面を解消し、走行状況に応じて最適なロールバーの動作を実現するのが、ベンティガに採用された48Vアクティブロールコントロールです。「ベンティガの新技術 Vol.2」で一度触れましたが、改めてこの注目の新機構への理解を深め、セールスワークにお役立てください。



「どのように作動するのか？」

一般的なアンチロールバーは、1本のスチール製の棒を「コ」の字様に成形したパーツで、本体はシャーシに固定され、それぞれの先端が左右のサスペンションに接続されています。前にも触れたように、片方のサスペンションが大きく上下するとその棒がねじられ、ねじれを元に戻そうとする力で反対側のサスペンションが同じ方向に動く構造になっています。

一方、ベンティガのアクティブロールコントロールでは、アンチロールバーの途中に内側と外側が個別に回転する、二重構造になった円筒状の部品が設けられており、その中にロータリー式の電動アクチュエーターを内蔵。外筒から伸びたアンチロールバーの端が片方のサスペンションに、反対側の内筒から伸びたアンチロールバーの先端がもう片方のサスペンションに接続されています。そして、アンチロールバーの「ねじれ」に相当する力は、電動アクチュエーターの抵抗トルクによって生み出す構造になっています。



オンロードでのコーナリングシーン。かなりの高速コーナーにも関わらず、車体のロールが見事に抑えられています。

「どんなメリットがあるのか？」

アクティブロールコントロールの最大の特徴は、選択したドライブモードと各ホイールセンサーからの情報を元に、走行状況に応じて専用ECUがアクチュエーターの抵抗レベルをリアルタイムに変化させる点にあります。これにより以下のようなメリットをもたらします。

- 直進走行時** アクチュエーターの抵抗を最小限に抑えるため、アンチロールバーがホイールの動きを阻害することがありません。それにより、フラットな道ではもちろん、不規則な凹凸のある道でも抜群の乗り心地を提供します。
- コーナリング時** 速度やコーナーのR（曲率）、ステアリング操作によって変化するロール量に合わせて、アクチュエーターの抵抗を増減。ロールの少ない安定したコーナリングを実現します。
- オフロード走行時** 例えば片輪だけが深いわだちに落ち込むようなケースでは、必要に応じてアクチュエーターの抵抗を0にしてアクスルの可動域（アーティキュレーション）を最大限に確保。左右のタイヤで確実に路面を捕らえることができます。

「48V（ボルト）電装とは？」

アクティブロールコントロールは、その制御に48V電装を採用していることでも注目されています。

アクティブロールコントロールを作動させるロータリー式電動アクチュエーターは、車重にコーナリングフォースを加えた大きな荷重に対応できるトルクと、刻々と変化する走行状況に瞬時に対応できるスピーディな作動が求められます。そこで、乗用車で一般的な12Vよりもパワフルで動きの速い48Vで作動するモーターを採用。必要な条件をクリアしました。

高度な電子制御システムへの対応、電装システムの効率化、小型車向けマイルドハイブリッドの普及といった観点から、欧州を中心に検討、研究、開発が進んでいる乗用車の48V電装。アクティブロールコントロールはそれを先取りした点でも革新的なシステムです。

FINANCE [ファイナンス]

My Flying B

マイ・フライングB

Exclusive Offer

1.99%

期間限定2016年 4月25日~6月30日



据置設定型ローン“マイ・フライングB”ご利用のメリット

車両本体価格の一部を最終回のお支払額として据え置くことで、月々の負担を大幅に軽減するベントレー専用のローンプログラム、それがマイ・フライングBです。Flying Spur V8なら車両本体価格の最大50% (3年の場合) を据置設定可能。最終回のお支払い方法も自由にお選びいただけます。


車両本体価格
頭金+月々のお支払い
最終回のお支払い (据置価格 / 据置率)

※据置価格 (最終回のお支払い額) を再分割でお支払いの場合の適用金利 (実質年率) は、その時点での通常金利 (実質年率) となります。※再分割には当社所定の審査が必要となります。審査結果によっては再分割ができない場合がございます。
※ローン元金は、ご購入価格から頭金を差し引いた金額です。当お支払い例はあくまでご参考金額です。お申し込み時期によっては金利条件が異なる場合がございますので、詳細はセールススタッフへお問い合わせください。※「マイ・フライング B」は、据置価格での車両買取を保証するものではありません。※上記の適用金利 (実質年率) は予告なく変更される場合がございます。
※特別金利適用はキャンペーン実施期間 (2016年4月25日~6月30日) にご成約、およびローン契約がなされ、2016年6月30日までに新規登録がなされた車両が対象となります。※取扱い上限金額は車両本体価格+オプション価格+諸費用となります。※写真はイメージとなり、一部欧州仕様車も含まれます。※詳しくはBentley正規ディーラーにお問い合わせください。

特別低金利1.99% (実質年率)

対象車両	Bentley 新車 (2016年6月30日までに新規登録がなされた車両)
適用金利	1.99% (実質年率)
お支払い期間 (回数)	3年 (36回)、4年 (48回)、5年 (60回)
据置率	モデル別の据置率について詳しくは、裏面をご確認ください。
最終回のお支払い方法	(1) 新たなベントレーにお乗り換え、(2) 据置金額の一括お支払い (3) 再分割でお支払いの3つからお選びいただけます。

Flying Spur V8

My Flying B [特別金利1.99% (実質年率) / 3年36回お支払い例]	
月々のお支払い金額 (34回)	149,200円
車両本体価格 (消費税込)	19,450,000円
頭金	5,900,000円
ローン元金	13,550,000円
初回お支払い金額	151,455円
最終回のお支払い金額 (据置価格 / 3年プラン据置率50%)	9,000,000円
お支払い総額	20,124,255円

※諸費用等は含んでおりません。

My Flying B

マイ・フライングB

Bentayga 特別据置率

50% ▶ 55%

期間限定2016年 4月25日~6月30日



据置率 (据置価格) 対象車の車両本体価格 (税抜) に対し下表の範囲で自由に設定できます。

今ならBentaygaに
車両本体価格の最大55% (3年の場合) を据置設定可能。


車両本体価格
頭金+月々のお支払い
最終回のお支払い (据置価格 / 据置率)

新車 MY Flying B 据置率上限 (下限は一律5%)			
お支払い期間 (回数)	3年 (36回)	4年 (48回)	5年 (60回)
Bentayga	50% 55% (特別据置率)	40%	30%
Continental シリーズ V8モデル Flying Spur V8モデル	50%	40%	30%
Continental シリーズ W12モデル Flying Spur W12モデル	45%	35%	25%
Mulsanne	40%	30%	20%

Bentayga

My Flying B [特別金利2.99% (実質年率) / 3年36回お支払い例]	
据置率50%	今なら 特別据置率55%
月々のお支払い金額 (34回)	232,900円
月々のお支払い金額 (34回)	198,800円
車両本体価格 (消費税込)	26,950,000円
頭金	7,750,000円
ローン元金	19,200,000円
初回お支払い金額	236,174円
最終回のお支払い金額 (据置価格 / 3年プラン)	12,470,000円
お支払い総額	28,374,774円
車両本体価格 (消費税込)	26,950,000円
頭金	7,750,000円
ローン元金	19,200,000円
初回お支払い金額	200,824円
最終回のお支払い金額 (据置価格 / 3年プラン)	13,720,000円
お支払い総額	28,430,024円

※掲載以外のモデルの据置率については、Bentley正規ディーラーにお問い合わせください。※ローン元金とは、ご購入価格から頭金を差し引いた金額です。当お支払い例はあくまでご参考金額です。お申し込み時期によっては金利条件が異なる場合がございますので、詳細はセールススタッフへお問い合わせください。※「マイ・フライング B」は、据置価格での車両買取を保証するものではありません。※上記の適用金利 (実質年率) は予告なく変更される場合がございます。※特別金利適用はキャンペーン実施期間 (2016年4月25日~6月30日) にご成約、およびローン契約がなされ、2016年6月30日までに新規登録がなされた車両が対象となります。※取扱い上限金額は車両本体価格+オプション価格+諸費用となります。※写真はイメージとなり、一部欧州仕様車も含まれます。※詳しくはBentley正規ディーラーにお問い合わせください。※上記支払い例に諸費用等は含んでおりません。